

Rotary



OKAYA

岡谷ロータリークラブ

- 会長／林 裕彦
- 副会長／佐伯克己・瀬戸雅三
- 幹事／太田博久
- R 情報(会報)委員長／上條英雄

- 事務所／岡谷市中央町 1-4-1 ・ Tel/0266-22-6939 ・ Fax/0266-23-6939
URL: okayarc.org ・ Email: okayarc@bz04.plala.or.jp
- 例会／毎週火曜日 PM12:30 ホテル岡谷

第 2874 回例会 2019 年（令和元年）5 月 28 日(火)

点 鐘：林 裕彦 司 会：竹村一幸
斉 唱：我等の生業
ラッキーNo：NO. 13 中畑隆一

会長挨拶

皆さん、こんにちは！今朝、川崎市登戸駅付近で、小学生含む 16 人がケガ、内女児 1 人死亡、数人が重傷という悲しい事件が起きました。何とも言いようのない気持ちです。被害者となった方々と家族の皆様には追悼の意を表する次第です。

はじめに本日のゲストの

紹介をさせていただきます。つつじが丘学園園長補佐の古屋勝哲様です。ようこそお越しいただきました。後ほどお話をいただきます。古屋様どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

5 月 25 日（土）ですが、川瀬園長先生より御連絡をいただき、御母堂様がお亡くなりになり本日が葬儀の日となってしまい申し訳ございません。会員の皆様に日頃の御礼と欠席のお詫びをとの事で言付かっております。御母堂様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

そして、事務局伊藤智恵子さんの御主人が、伊藤さんの毎日の看護の甲斐もなく昨日お亡くなりになりました。伊藤さんの御心痛を察し、心より御冥福をお祈り申し上げたいと思います。

今朝のNHKニュースの中で、生みの親と様々な理由で暮らせない子どもが全国で約 4 万 4 千人いるそうです。特別養子縁組、これは子どもが欲しいけれど子どもを持つことが出来ない夫婦が自分の子どもとして育てていく、年間件数が約 600 件あるそうです。そうした新しい家族のかたちが増加しているそうです。本来の生みの親への愛情よりも育ての親への愛情と感謝の気持ちを持って、これからも育ての親の両親とともに一緒に生きていきたいと 25 歳の青年が笑顔で語っていたのが印象的でした。

つつじが丘学園も昭和 26 年「塩嶺学園」として創設以来、昭和 41 年現在地に移転し、児童養護施設つつじが丘学園として数多くの子ども達と生活を共にし、立派な青年として社会に送り出してこられました。将来を担う子ども達の為、これからも

岡谷RCの会員として、また岡谷市民として何が出来るか、何をすべきか考える機会となればと思います。

以上、会長挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

幹事報告

- 次週 6/4 (火) 例会終了後、60 周年準備委員会を開催いたします。委員の皆様はよろしく願いいたします。

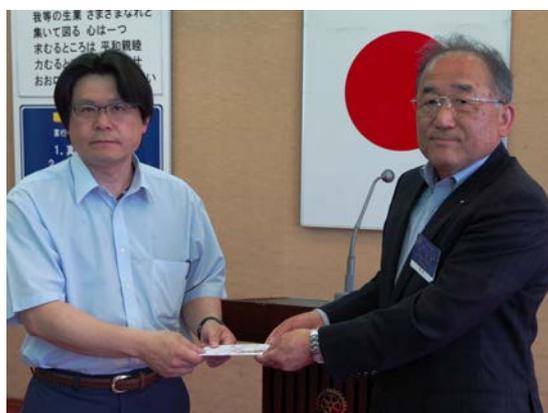


卓話「我が国における児童福祉の考え、

それに伴うつつじが丘学園の現状」

つつじが丘学園 園長補佐 古屋 勝哲様

皆様こんにちは。私はつつじが丘学園で園長補佐をしております古屋勝哲と申します。本来ならば園長の川瀬がご挨拶に伺うべきですが、川瀬の母が亡くなり本日葬儀の為伺う事ができず、そのお詫びと、くれぐれも宜しくお伝えくださいとの旨預かって参りました。本日助成金を賜りました事心より感謝申し上げます。ありがとうございます。岡谷RC様におかれましては社会福祉法人つるみね福祉会つつじが丘学園に対し、長きに亘り御支援御協力を賜り重ねて御礼申し上げます。本日頂戴いたしました助成金は児童支援、福祉事業活動のために大切に使用させていただきます。



本日は、我が国における児童福祉の考え、それに伴うつつじが丘学園の現状についてお話しさせていただきます。

私の自己紹介を簡単にさせていただきます。生まれも育ちも岡谷市で湊小、南中、南高、大学を卒業し岡谷に戻り 27 年前に川岸のつつじが丘学園に就職いたしました。今ほど児童福祉が注目されていなかったのも、どんな仕事をしたらいいのかと思っていたら先輩から、とにかく子どもと一緒にいて子どもに寄り添ってあげれば良いと言われました。365 日子どもと一緒に過ごす生活を続けてきました。今、園長補佐という立場になりましたが、今でも宿直や子どもと一緒に風呂に入ったりもしています。

本題に入ります。30 年度の児童虐待の件数は 13 万 3,778 件、これは虐待として児童相談所に報告のあった件数です。1990 年代は、虐待の件数は 1,000 件位でしたので、急激に増加したわけです。その背景としては、千葉県での事件もそうですが、近隣の方からの通報が入るようになり件数が上がってきましたが、実際 13 万という数字は氷山の一角に過ぎず、表に出ていない虐待の実態があると言う事を皆様にも知っていただきたいと思っております。虐待の件数が増えるに伴い、私どもの施設にも緊

急に保護して欲しいという一時保護依頼が増えるようになりました。29年度は2件だったのが昨年度は24件ございました。その中には家に帰すことが出来ず措置入所になった子供もおります。

児童養護施設を取り巻く社会の現状ですが、2017年8月児童福祉法改正により児童養護施設がどうあるべきか、有識者による検討会が行われ、新しい社会的養育ビジョンが厚生労働省より出されました。ですが、この社会的養護の有り方については、児童養護施設の存在を否定するもので、施設に預けていても虐待は無くならない、今後は里親委託に移行しましょうという内容でした。里親委託にするには里親がいなければなりません。ですが実は里親はそれほど確保できていないのです。専門的な知識のない方が里親になられても、虐待を受けているような難しい子どもを相手にするのは大変なことですので、里親を申し出る方が簡単に出てこないのが現状です。

施設について、も私どものような大きな施設をやめ、これからは最大入所人数6名の小規模施設をたくさん作りましょうということです。なので小規模化が図れない施設は今後は入所にかかる経費も限定されされ、施設自体が力を持っていない所は閉じていくしかないというのが今の施設の課題になります。施設は国や県の要望に応じて行かないと生き残っていけないので、専門性の向上や人材確保に努めておりますが、福祉の仕事我希望する若い方がいなくて、大学に募集を出しても一人も応募してこないという実情があります。幸い、つつじが丘学園は新たに6名、看護師、栄養士も新しくなり人材については確保できましたが、県内の他の施設では人材が足りないまま事業活動が始まっている所もあります。人材確保が難しいというのも課題のひとつになります。

私、今年度より経理も担当するようになりお金の流れについても勉強させていただいておりますが、施設は成算性がございませんので経済的なところは、寄付金や助成金に頼らざるを得ないのであります。中学生の部活動には国や県から補助をいただけるのですが、高校生の部活動には一切いただけません。全て施設の負担です。ですが県は子どもの入所の年齢を20歳までとしています。大学に進学したければ施設から予備校に通ってもいいのですが、その予備校の費用は施設の負担になります。国も県も子ども達の事は考えてくれますが、現実的な話、お金のことになると難しいところですよ。

こういった問題を解決するにあたり、やはり施設だけでは到底無理な話で、地域の方々の御協力がなければやっていけませんし、小規模施設を作るには色んな地域に点々と作っていくわけですので、地域の方に理解していただかなければなりません。青山に児童相談所を作る時、地域の方が猛反対されたということがありました。青山に相応しくないという理由のようですが、おかしい話だと思います。地域によっては当たり前のように拒否するということがあります。国は色んな所に一般家庭と変わらない生活スタイルで施設を運営しなさいと言っているのに、作る所がないわけですよ。私どもも国や県の方針に沿って施設運営していきますので、もし今後地域に施設を作りますとなった時には、ご理解ご協力を切にお願いいたします。私は、岡谷で生まれ育っているので、岡谷市は地元として住み心地がよく愛すべき所です。子どもたちの福祉に於いて岡谷市っていいなと位置付けてくれればと思っております。

何度もお願いになりますが、今まで申し上げました問題解決にあたりましては、私どもだけでは無理なことがございますので、是非とも岡谷ロータリークラブの皆様の引続きのご支援をお願いしたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

最後になりますが、岡谷ロータリークラブ様の御活躍と、皆様方の御健康を祈念いたしまして、私からのお話とさせていただきます。本日はありがとうございました。

ニコニコボックス

牛山幸一・太田博久・大橋正明・小口 隆・笠原新太郎・片桐伸介・上條英雄・佐藤有司・杉村邦彦・瀬戸雅三・高木昭好・高木克彦・竹村一幸・中嶋孝一・中村文明・林広一郎・林 裕彦・林 靖高・宮坂晃介・宮坂 伸・宮澤由己・矢島 進・矢島実・山岡俊幸・山岸邦太郎・江黒寛文・小口国之・小宮山英利 つつじが丘学園古屋様ようこそお越しいただきました。卓話楽しみにしております。よろしく願いいたします。

出席報告

【5月21日】

会員数47名、出席者33名、出席率71.74%、前々回訂正93.18%

【5月28日】

会員数47名、出席者31名、出席率68.89%、前々回訂正76.60%

2018-2019

岡谷ロータリークラブテーマ

「共に前へ繋いで行こう」



2018-2019 年度RIテーマ

インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

